



紀和ニュース

(伊賀の里からの便り)

2017年(平成29年)5月1日

第27号

1、はじめに

季節はめぐり、さわやかな新緑のときがやってまいりました。春の光より少しずつ強くなってくる陽光をうけると自然の恵みに対し心からありがたいという気持ちが湧いてきます。

人々はこのような季節変化の中で営々と生活しながら、便利で効率の良い品物あるいは多くの人が“良し”とする社会組織を求めてきました。もちろん、その過程において種々の失敗、多くの犠牲を経て人々が求める商品の実現、あるいは多くの人が幸せになる社会組織に変わってきたはずです。

世界の貿易ルールも過去の苦い経験をベースにして徐々に変わり、多くの国が賛同するルール達成に向けて長期間努力を重ねてきています。そして過去20年間程度を振り返れば自由貿易実現を目指し、EUを筆頭に世界の国々が自由貿易実施あるいは関税障壁を少なくした貿易協定を締結してきています。

日本ではこのような大きな潮流を当然と考えていますが、最近のアメリカ大統領選挙結果あるいは英国のEU離脱を見ますとこの流れを見直す動きが出てきています。

しかしながら日本の工作機械業界は海外との貿易のおかげで成長してきていますので、これまでと同様に貿易障害の無いルール策定を更に進めてもらいたいと願わずにはおられません。

同時に多くの国で信頼される機械作りに向けさらに努力を重ねていかねばと決意を新たに致しました。

代表取締役社長 西井 幸司

2、2017年度 新入社員紹介

4月3日(月)に本社にて入社式を行いました。本年度は3名の新入社員が入社致しました。

私どもは、紀和マシナリーの新入社員としてスタートできる喜びを、このうえなく光栄に思っております。しかし、なにぶんにも学校を出たての未熟者ばかりです。先輩の皆様のご指導ご助言によって、一日も早く一人前の社員として、立派な戦力となるよう最大限の努力をしていくつもりです。どうぞよろしくご指導のほどお願いいたします。

(新入社員一同)



(左から、兼、出口、朱)

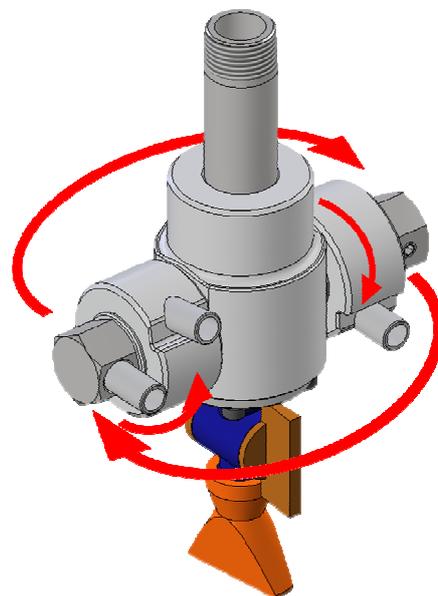
3、新製品のご案内 ロータリーノズル

工作機械内に堆積しがちな切粉をうまく排出する事は簡単でなく、一般的には機械上部に設置する多くのノズルからクーラント液を出して切粉を排出する方法を採用しています。この方法にて切粉を完全に排出しようとするればするほどクーラント液量は増加し、これに比例してクーラントポンプ・チップコン能力を大きくしていく必要が有ります。

省エネが望まれる今の時代を考えると、これまでと異なるアプローチの必要があると考え、色々とテストを行ってきました。その結果、分かりましたことはクーラント液の流れに変化を与えると「切粉が動きやすくなる＝排出しやすくなる」という事でした。この発見をベースにクーラントノズルを横方向と縦方向に旋回させる仕組みを持つロータリーノズルを開発しました。

このロータリーノズルにて機械内部のあらゆる場所にクーラント液を間欠的に吐出できることが可能になり、試作品にて本ノズルの切粉排出テストを行って良い結果を得る事ができました。

更に既納入機械ユーザー様においても本ノズル装着効果をご好評いただいております。



ご購入いただいたユーザー様の声

量産加工を行う中で、加工室内の切粉の堆積、ワーク基準座周辺への切粉の付着によるチョコ停等で日々悩まされていましたが、JIMTOF でこのノズルを見て半信半疑で購入して取付けてびっくり！今までの苦労が一挙に解決しました。しかも、毎分 20L/min で 0.2MPa も有れば非常に効率良く回転してくれる優れ物だと思っています。今後は、他の機械にも取り付けて改善して行くつもりです。

是非、ロータリーノズルの効果をお試しく下さい。



通常ノズル使用時



ロータリーノズル使用時

通常ノズルと、ロータリーノズルによる洗浄の比較

KIWA Japan

株式会社 紀和マシナリー

〒518-0752

三重県名張市蔵持町原出522-51

TEL: 0595-64-4758

FAX: 0595-64-7529

E-mail: sales@kiwa-mc.co.jp

URL: <http://www.kiwa-mc.co.jp>